

ONCC 第11期 ～江戸時代にタイムスリップ～

テーマ：午前 江戸時代と漆工芸 / 午後 大阪くらしの今昔館見学

2023.9.27 3 班担当

先週今週と2週続けて、大阪くらしの今昔館より講師をお迎えしての講義でした。

先週（9/20）は、深田智恵子講師による「江戸時代の大坂の町と町家のくらし」大坂の暮らしの特徴だった、大坂三郷の町作りや、借家の「裸貸」等、大阪の合理的な発想の話が伺えました。TVで観る時代劇の町の様子を思い浮かべつつ、話されることを当てはめていく感じが面白い感覚でした。

今回（9/27）は上田祥悟講師による「江戸時代と漆工芸」漆文化の始まりから時代背景、また時代と共に進化していく様子、近代大阪の漆事情など、漆の話を沢山して頂きました。

今昔館を中心としたお話を頂いたので、見学への準備は万端。

午後は、天神橋六丁目駅直ぐの所に位置する大阪暮らしの今昔館を見学してきました。

今昔館の10Fでエレベーターを降りると、江戸時代の街並みが一望できます。

江戸時代の技法そのままに再現されていると講義で聞いていたので、感慨深く全体を眺めて9Fへ移動。大坂町3丁目の木戸門をくぐると、1830年代の街並みをそのままに、実物大に再現された風呂屋、会所家、薬屋、唐物屋、問屋等のある大坂の町です。講義で聞いた大坂にまつわるお話を思い出しながら見学しました。

軒を並べる大小の町や火の見櫓、路地を抜けると裏長屋、とても風情ある街並みです。

光と音の演出で町の日を45分に短縮して表現されています。色々と趣向が凝らされているので、見ていて楽しく面白がれる空間でした。

200年前の一日にタイムスリップして、大坂町三丁目の風情を満喫できました。

外国からも沢山の方がいらして、浴衣で散策されている姿にも出会えました。

楽しみながら昔の日本の文化を学ぶ場所が、こんなに近くにあったんですね。

そして、8Fへ。

ここには、19世紀後半から20世紀始めの大阪の様子がジオラマで表現されています。大阪で生まれ育った方の話を聞きながら回っていると、映画やTVで観た事のある風景に出会っているような錯覚を覚え、経験してないけど懐かしい感じがしました。



午前中の講座受講風景



順番待ちの ONCC 受講生



月夜に照らされた、店並ぶ町通り



裏長屋